富山県ジェネリック医薬品市場流通実態調査
（令和６年度上半期分）の結果について

１　目的

県内医薬品卸売販売業者におけるジェネリック医薬品（後発医薬品）の市場流通状況の実態調査を実施し、県内の後発医薬品の占める割合（数量）を把握するもの。

２　調査概要

富山県医薬品卸業協同組合加盟の医薬品卸売販売業者の協力を得て、令和６年度上半期（令和６年４月～令和６年９月）に、富山県内の医療機関及び保険薬局に販売された「後発医薬品のある先発医薬品」及び「後発医薬品」について、内用薬、注射薬、外用薬の数量別の流通実態調査を実施したもの。

３　調査対象

富山県医薬品卸業協同組合加盟の医薬品卸売販売業者　６社

４　調査方法

・厚生労働省「後発医薬品のさらなる使用促進のためのロードマップ（平成25年４月）」に基づき、後発医薬品に置き換えられる先発医薬品（後発医薬品のある先発医薬品）及び後発医薬品の数量を集計し、後発医薬品の数量シェアを算出した。
・数量：各製剤の薬価収載単位（１錠、１cap、１筒、１枚等）を１単位として集計
・後発医薬品の数量シェア：
［後発医薬品の数量］／（［後発医薬品のある先発医薬品の数量］＋［後発医薬品の数量］）

５　集計結果

・後発医薬品の数量シェア　80.8%　　（内訳）　内用薬　83.1%
　　注射薬　70.1%
　　外用薬　65.0%
・本調査における成分別バイオシミラーの普及率　33.3%
（調査対象とした 18 成分のうち、バイオシミラーに数量シェアで 80%以上置き換わった成分は６成分）

６　参考

数量シェア(%)		平成 25 年度		平成 30 年度		令和５年度		**令和６年度**	
		上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	**下期**
後発医薬品		―	46.4	67.7	69.4	77.9	77.8	80.8	
	内用剤	―	49.2	71.1	72.7	80.1	80.0	83.1	
	注射薬	―	66.6	74.8	77.1	78.8	74.7	70.1	
	外用薬	―	29.4	47.1	49.7	63.3	64.1	65.0	